

2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番	福山市立神村小学校
最終更新日		2022年(令和4年)4月1日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価指標は数値だけでなく、子どもの実態でも評価したほうがよい。</li> <li>ICT教育に向けて、先生方は大変だろうが前に向けて進められるよう頑張してほしい。</li> <li>長期欠席生徒減少に向け、ICTも含め個に合わせた指導を充実させてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査では、多くの学校が全国平均を下回っており学力の定着に課題がある。</li> <li>同調査の「意識調査」ではほとんどの項目で全国平均を上回っている。「わかる」と「できる」の認知の差が大きい。</li> <li>素直な子どもが多いが、表現力など本当の意味での自己肯定感が弱い。</li> </ul>	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力を身につけ、自ら進路を切り拓く子ども</li> <li>自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども</li> </ul>
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主体的な学び」の授業づくりに取組み、学力を向上させる。</li> <li>「自己表現」「あいさつ」に取組み、自己肯定感を向上させる。</li> <li>「自分で選び・決める活動」に取組み、自己形成力を向上させる。</li> </ul>

III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】
心豊かに自立・貢献・感謝する児童を育成し、保護者・地域から信頼され、共に歩む学校	めざす子ども像	変化の激しい社会をたくましく生きる子ども 1 基礎学力を身につけ、自ら学び続ける子 2 運動・食習慣を身につけ、活力のある生活ができる子 3 規範意識を身につけ、思いやりのある言動ができる子
学校教育目標	研究	テーマ
心豊かに自立・貢献・感謝する児童の育成 ～自ら考え、表現する・やりきる・関わり合う神村っ子の育成～	内容等	自分で選ぶ、自分で決める 子ども主体の学び
現状	めざす授業の姿	
<児童生徒> ○自ら考え、表現する・やりきる・関わり合う力は意識できるようになり着実に高まってきている。 ●主体的な学習や、行動は不十分である。 ●コロナ禍のもと、挨拶ができなくなってきた。 <授業> ○力のある学習課題を設定し、学習課題に対する児童の反応を予め予測し、整理分類するなかで、児童が選び決める授業を目指し取り組んだ。 ○ロイロノート、Meet等のICTを活用した授業づくりが進んだ。 ●「子ども主体の学び」として、子どもが主体となって選ぶこと、決めることを一層増やすことが必要である。 ●コロナ禍のもと、ICTを活用した授業が進んだ半面、教え込みに戻った授業があった。	算数科を柱として、外国語活動・外国語科、道徳、ICT、体育、縦割り班活動等、縦断的、横断的な、学習者起点の学びを行う。	自分で選ぶ、自分で決めるなかで、知的好奇心・意欲を高め、学び続ける児童を育てる授業

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立神村小学校

年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)				
							□指標に係る取組状況	70%以上評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	70%以上評価	達成評価	総合評価
1	「主体的な学び」の授業づくりを進めて、学ぶ意欲と学力を向上させる	★	新規	「主体的・対話的で深い学びのある授業」について、共通理解を持つ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で選ぶ、自分で決める学びづくり</li> <li>タブレットを活用した学びづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で選ぶ、自分で決める学びができている児童の割合 80%以上</li> <li>タブレットを活用した授業づくりができる教師の割合 100%以上</li> </ul>								
1	教職員の資質・能力を向上させる	★	新規	「めざす子ども像」「めざす授業の姿」実現に向け、主体的に取り組む教師を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が主体性を持ち、よりよい学校づくりに貢献</li> <li>業務改善、協働による着実な業務遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人1プロジェクトを推進し、「仕事にやりがいを感じている」教職員の割合 80%以上</li> <li>時間外勤務時間が月45時間超の職員0人</li> </ul>								
1	生徒の自己肯定感を高める	★	新規	児童の特性に応じた授業づくり・支援により、心のコップが上向きになった児童を育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の自己評価の継続と課題に係る改善</li> <li>長欠対策委員会による、児童をあたため、エネルギーを高める取組推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つのMにおける児童の行動化に係る肯定的評価85%以上</li> <li>長期欠席・出席停止の児童を昨年度の80%以下</li> </ul>								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。